

項目	説明	
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	リンパ節転移率と術前化学療法後胃癌の術後長期成績についての検討
	研究目的	リンパ節転移率(LNR: Lymph node ratio)は転移リンパ節個数と郭清リンパ節個数を用いた転移評価方法で、胃癌術後の予後因子としての報告が散見されます。しかし、術前化学療法を施行された胃癌症例における LNR の有用性については、明らかになっていません。今回、当院で術前化学療法後に手術が施行された胃癌患者様を LNR により群分けし、長期成績について比較検討しました。
	研究対象者	1992 年 3 月から 2019 年 11 月の間、当院で胃腺癌に対し術前化学療法後に胃切除術を施行された患者様
	研究期間	西暦 2021 年 3 月 22 日 ~ 西暦 2025 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)	<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録	
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	大島 貴
試料・情報を 利用する者の 範囲	当センターで の実施診療科/ 部局等	消化器外科
	共同研究の場 合、共同研究機 関および各施 設での研究責 任者	特記事項はありません。